

## 新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび、下記の検査項目を新たに受託開始いたしますので、  
ご利用いただきたくご案内いたします。  
当社におきましては、皆様のご要望に幅広くお応えすべく研鑽  
を重ねてまいりますので、今後とも引き続きお引き立てのほど、  
よろしくお願い申し上げます。

敬 白

### 記

■ 実施日 平成 25 年 6 月 3 日 (月) ご依頼分より

### ■ 新規項目内容一覧

項目コード (統一コード)	検査項目	検体量 (mL)	容 器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値 (単位)	備 考
Y279.6 (5E154)	トリコスポロン・ アサヒ抗体	血清 0.3	↓ X	凍結 (28日)	7~14		Antigen-captured ELISA	0.15 未満 (CAI) 判定基準： 下記参照	&八

#### 【判定基準】

CAI (Corrected Absorbance Index) *	判定
0.15 未満	陰性
0.15~0.30 未満	判定保留
0.30 以上	陽性

★CAI (Corrected Absorbance Index) : 補正吸光度

## ●トリコスポロン・アサヒ抗体

夏型過敏性肺炎の主要な原因抗原トリコスポロン・アサヒの抗体測定を開始いたします。

夏型過敏性肺炎は、トリコスポロン属の真菌孢子の反復吸入により発症するアレルギー性肺疾患で、日本の過敏性肺炎の約70%以上を占める特徴的な疾患です。

発症時期は、トリコスポロンが高温多湿の居住環境で増殖する7月をピークとした夏季に多く、発症環境の大部分は患者自宅です。予後は、亜急性では良好ですが、居住環境から原因抗原が除去されずに再発を繰り返して慢性型に移行すると、肺の線維化をきたし呼吸不全に至ることもあり、早期診断が必要です。最近では、居住環境の気密化や加湿器の普及により、発症環境は古い木造家屋に限らず、発症時期も長期化の傾向があるといわれています。

このたび、夏型過敏性肺炎の主要な原因抗原トリコスポロン・アサヒ (*Trichosporon Asahii*) に対する抗トリコスポロン・アサヒ抗体の測定を受託開始いたします。本検査は、呼吸器感染症や間質性肺疾患との鑑別に有用と考えられます。

### ▼ 対象疾患

- 夏型過敏性肺炎

### ▼ 関連する主な検査項目

- 白血球数
- CRP
- 特異的IgE (C-PAC16 アレルゲン) 鼻炎・喘息用

### ▼検査要項

検査項目名	トリコスポロン・アサヒ抗体
項目コード No.	Y279 6
検体量	血清 0.3 mL
容器	→X (ポリスピッツ)
保存方法	凍結保存してください。
保存安定性	28日間
所要日数	7~14 日
検査方法	Antigen-captured ELISA
基準値 (単位)	0.15 未満 (CAI) 判定基準: 下記参照
実施料	未収載
判断料	未収載
備考	&ハ

&ハ: シノテスト サイエンス・ラボ

### 【判定基準】

CAI (Corrected Absorbance Index) *	判定
0.15 未満	陰性
0.15~0.30 未満	判定保留
0.30 以上	陽性

★CAI (Corrected Absorbance Index) : 補正吸光度

### ●参考文献

三宅 修司, 他: 日本呼吸器学会誌 39 (1): 7~11, 2001. (検査方法参考文献)

新井 徹, 他: 呼吸器科 13 (5): 404~411, 2008.